

平成30年8月31日

会員各位

協会だよりー309(9月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第237回月例会開催（一般社団法人 触媒工業協会との共催講演）
日時：平成30年9月14日(金) 16:00-17:00 懇親会 17:00-19:00
会場：学士会館320号室
演題：「触媒発見に見るセレンディピティ」
講師：小宮 三四郎 様（東京農工大学 名誉教授, 首都大学東京 特任教授）



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 事務局より（九月度の予定）
【予定事項】
- 三. 【雑学】太田道灌の銅像を巡って
（3）（小林尚道氏寄稿）

① 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー308（8月号）をHPに更新及び各会員にメールで送信（8/02）
- ② HPの更新
会員専用ページを更新
 - 第236回月例会一泊研修会の懇親会写真
 - 第236回月例会 経費報告
 - 7月度月例経費報告
- ③ 会員各社の内容更新問合せ
- ④ 第237回月例会への参加募集
- ⑤ 第238回月例会（11月工場見学）実施に向け幹事会社へ案内

[予定事項]

① 9月14日(金) 一般社団法人 触媒工業協会との共催講演会開催について補足

日時：平成30年9月14日(金) 16:00-17:00 懇親会 17:00-19:00

会場：学士会館320号室

演題：「触媒発見に見るセレンディピティ」

講師：小宮 三四郎 様 (東京農工大学 名誉教授, 首都大学東京 特任教授)

演題要旨：

触媒をとりまく科学の歴史においてノーベル賞に繋がった多くの発見は、全くの偶然や間違えに端を発しているものが少なくない。これらが大発見につながる能力はセレンディピティーと呼ばれており、研究者が意図して見つけたものもあれば、全くの偶然や単純な間違えによるものもある。本講演では、日本人が大きく関わりノーベル化学賞にも繋がったいくつかの事例を解説するとともに、21世紀に向けた触媒化学や有機合成への期待について。

② 第3回運営委員会の開催

日時：平成30年9月20日(木) 16:00-17:00 懇親会 17:15-19:15

会場：堺化学工業(株) 東京支店会議室 (ザイマックス岩本町ビル)

議題：●第237回月例会 (共催講演会) の反省会、

●第238回月例会 (11月予定の見学会) の場所選定など

出席予定会社：

幹事会社：中外鉱業(株)・日興リカ(株)・双日(株)・(株)徳力本店

委員会メンバー：堺化学工業(株)・安田薬品(株)・ユミコアジャパン(株)・横浜金属(株)

石福金属興業(株)・クラリアント触媒(株)・相田化学工業(株)・日誠金属(株)

③ 一般社団法人新金属協会より事務所移転のご案内

平成30年9月18日(火)より下記住所に移転されます。

〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-12 芝公園電気ビル3F

☎：03-5405-2080 Fax：03-5405-2081

2. 事務局 (9月度の出勤予定)

出勤予定●：9日間

日	月	火	水	木	金	土
						9/1
9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8
		●		●		
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15
		●		●	講演会	
9/16	6/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22
		●		運営委員会		
9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29
9/30		●		●		

(文責：専務理事)

【雑学】太田道灌の銅像を巡って (3)

埼玉県内に道灌さんの銅像は5ヶ所に建立されている。さいたま市岩槻区に2ヶ所、川越市に2ヶ所、越生町に1ヶ所である。岩槻区2ヶ所と川越市2ヶ所は既に訪問したが、今日の目的地は越生町龍穩寺（越生駅から相当遠い所にある）である。6/17（日）自宅を7時出発、J R横浜線、八高線を利用して高麗川駅に9時15分に到着する。芭蕉さんの追っかけで仲間のSさん（日高市在住）が車で案内してくれることになり感謝感激！車は毛呂山町（埼玉医大の所在地）を通り越生の町に入る。黒山三滝などのハイキングコースがあるせいか、軽リュック姿のハイカーが目立ち始める。黒山三滝方面に向かい、上大満バス停付近を右折し2kmほど進むと龍穩寺に到着する。

⑧【龍穩寺の道灌銅像】埼玉県越生町龍ヶ谷 452-1

長昌山龍穩寺は大同2年（807）の草創で、永享2年（1430）に室町幕府六代将軍足利義教（よしのり）が関東管領上杉持朝（もちとも）に命じて無極慧徹を開山として復興させたと伝えられている。文明4年（1472）に太田道真・道灌父子が泰叟妙康（たいそうみょうこう）を講じて中興した。



太田道灌は当山五世雲崗和尚（うんこうおしょう）について大悟徹底して、長禄元年（1457）現在の皇居を築く。兵馬の間にあって座禅と学問を怠らず、歌人として知られ文武両道の達人である。文明18年（1486）謀殺され、父道真によって当山に分骨される。（碑文より）

長福寺（川越市）の道灌銅像の台座にも開山雲崗俊徳禅師とあるので両寺共に雲崗和尚が治めていたのであろうか？



太田道真公（道灌父）・太田道灌公の墓（龍穩寺）
越生町再発見 100 ポイントとして太田道灌公の墓の説明版には次のように記されている。

「太田道灌は、永享4年（1432）扇谷上杉家の家宰太田道真の嫡男として生まれた。

当時の関東は、関東管領、古河公方、堀越公方などの地方政権が分立する混乱状態にあった。道灌は24歳で家督を継ぎ、長禄元年（1457）に築城した

江戸城、河越（川越）城、岩付（岩槻）城を拠点に、各地を転戦して勝利し、関東の安定に尽くした。しかし、その戦功と高潔な人柄は、かえって主君上杉定正の不興を買い、文明18年（1486）7月、相州糟屋（現神奈川県伊勢原市）の定正邸で謀殺された。越生の自得軒で悲観にくれた父道真は明応元年（1492）81歳で病没、当寺に葬られた。

なお、道灌の墓塔は、終焉の地、伊勢原市の大慈寺と洞昌院、太田家の子孫が鎌倉に開基した英勝寺にもある」墓塔は岩槻の芳林寺にも有りましたが？5ヶ所に有るようだ。

【史跡 山吹の里公園】埼玉県越生町和田 24

越生駅前前の観光案内所に戻り、山吹の里公園へ行く道を尋ねる。踏切と川を渡るとすぐの場所ですよとのこと。自生する山吹の花は4月下旬から5月上旬で終わったようだが、古歌にもある七重八重の花を一輪見つけた。また道真の隠居地・自得軒があったと思われるのが健康寺であることも、山吹の里の碑文で判った。

Happy! 健康寺にも行って見るようになった。



【健康寺】埼玉県越生町小杉 461



山吹の里公園より「越生の梅林」へ向かい更に進むと健康寺に到着する。健康寺の説明版には以下の様に記されている。

「関東管領上杉家一族の扇谷上杉家の家宰として、関東にその名を馳せた名将太田道真は、息子の道灌とともに江戸城、岩付城、河越城を築いたのち、越生に本拠地を移した。ここ大字小杉字陣屋付近が、道真の居館自得軒の跡地と推定され、[太田道真退隠地]として埼玉県の旧跡に指定されている。」

昼食は黒山三滝の街道へ戻り、おそば「梅の里」（埼玉県入間郡越生町津久根 208-1）による。前日まで大雨であったのに、今日は曇り空ながら雨もなく恵まれた一日であったが多少蒸し暑く、昼ビールを頂いた。グーッとひと息でうまかった。

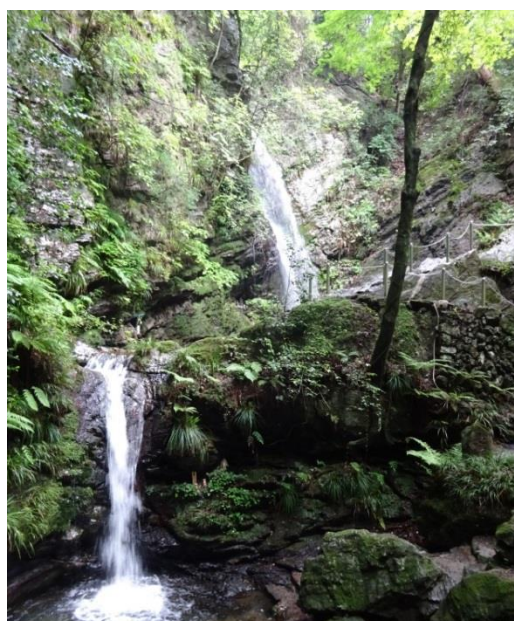
ちょっと奮発して、「天ぷらせいろ」を注文する。うま味であったが、値段もよかった。¥1,600.+税



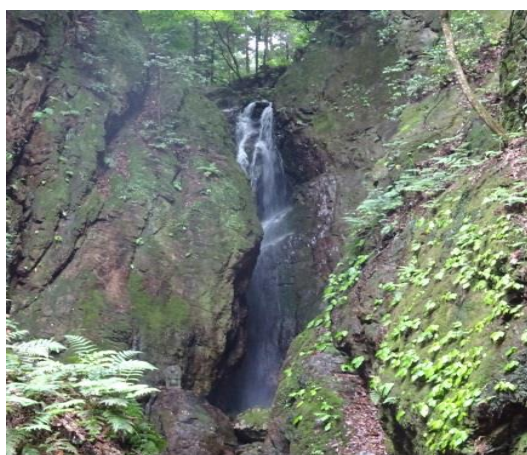
【番外編】

道灌さんとの関連はないが、越生まで来たら「黒山三滝」は見逃せない場所である。

龍穏寺より街道に戻り、更に進むと黒山三滝の入口に到着する。では三滝の写真を紹介する。前日まで雨が続いたので滝の水量も多い。



男滝と女滝



天狗滝



（次号へ続く）【執筆：小林尚道】